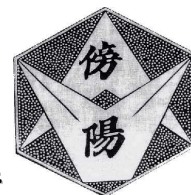


平成 20 年度 傍陽小学校だより 第 13 号

# 光れ！そえひっ子



平成 20 年 1 2 月 1 5 日 発行

連絡先: 電話 73-2312 FAX 73-2313 有線 2301 HPアドレス <http://www.school.umic.jp/soehi/>

子ども達が「にこにこ笑顔で」生きていくことができる「あいさつ」めざして・・・

## あいさつについて 始まった「ハイタッチ挨拶」の試み

傍陽小 二学期後半のあいさつ目標

**相手に伝えよう！気持ちのいいあいさつ！**

11号(11.15発行)の記事で、次のようにお伝えしました。・・・**今までの「すぐに」「大きな」といった、どちらかという、あいさつの「形」の向上に取り組んできたこれまでと**

**比べ、「気持ちのいい」という「心」に焦点をあてた取り組みです。子ども達に「あいさつをする心」を育てていきたいと思っています。**・・・それが、11月下旬から、「ハイタッチ挨拶」という形で、全校に広まり始めています。

11月から学校では、生徒指導係の提案を受けて、担任による「学級指導」や、「児童会活動」などであいさつ目標に向けて取り組んできました。その様子的一端を、「日報」(毎日の予定を確認する職員連絡用紙)のコラムから紹介します。

【挨拶～今朝の風景から～】

・・・玄関掃除から帰ってくると、4年生の女の子が待っていてくれました。どうしたのだろうと思いがち近づく、意外な一言が・・・「私たち4年松組で、あいさつの時、ハイタッチをすることになったので、ハイタッチしていいですか。」そこで、ハイタッチしながら「おはよう」と言うと、ニコニコしながら教室へ戻って行きました。(ハイタッチしながら挨拶すると自然とニコニコしてしまうなあ)と思いがち見送りました。・・・

【挨拶～今朝の風景から～】

・・・6年生の男子2人がハイタッチ挨拶をしてくれました。正直、驚きました。4年生は女子の方が積極的で、男子はちょっと遠慮しがちにハイタッチしてくる状況なのです。児童会で呼びかけ始めましたから、(4年以外で誰が一番乗りかな。6年生かな。女子かな。)と予想していたのですが、見事にはずれました。・・・ハイタッチ挨拶をしてくれると、普通の挨拶の何倍も嬉しく自然と笑顔になります。いったい誰が考えたのでしょうか。なかなかいい挨拶方法です。・・・

【挨拶～今朝の風景から～】

ハイタッチ挨拶 朝、3人ほどと出会った後、前日に昼の放送で児童会長さんがハイタッチ挨拶を呼びかけていたのを思い出して、実際にやってみました。子どもにとって私とのハイタッチ挨拶は、緊張するのでしょうか。いつもより、ちょっとこわばった声と顔で挨拶する子もいました。やっぱり、慣れるまでに時間がかかるのかもしれませんが。一方、片手をあげると、駆け寄ってきてハイタッチ挨拶をする子もいます。そういう子は例外なく笑顔。

職員会議で、児童会係の先生が「心を通わすための」挨拶という提案をしました。挨拶を「礼儀」としてだけ考えていると、ハイタッチ挨拶は「とんでもなく失礼」なのかもしれません。先ほどの声と顔が強張ってしまう子ども達は、きっと「先生に対して失礼かな?」という潜在意識があるのかもしれません。

ハイタッチ挨拶は、子ども達が「礼儀」としての挨拶と、「心を通わすための」コミュニケーションとしての挨拶の2種類を意識できるようになるチャンスなのかもしれません。

【挨拶～今朝の風景から～】

ハイタッチ挨拶も少しずつ慣れてきている様子が見えます。5,6年でも、跳んできてタッチする子が出てきました。「パッチン」といい音を立ててタッチする子、手を「合わせる」という感じにやさしくタッチする子、さまざまです。挨拶一つにも、一人一人の個性が見られて興味深いですね。

家庭や地域で「ハイタッチ・・・」というわけにはいかないと思いますが、子どもの挨拶に対する意識が高まり、それが家庭や地域でも元気なあいさつにつながっていくことを期待したいとおもいます。

## 子ども達が「こつこつ光る汗を流す」ことができる「清掃」めざして・・・

### 清掃教室で学んだことを下の学年に...「なかよし清掃」

長寿会の皆様のご協力で実施された「清掃教室」の成果が、さっそく、なかよし月間後半の取り組み「なかよし清掃」で現れました。

6年生が発見した1年のいいところ  
「そうじをしている時に、1年のA君が『がんばる!』と言って、そうじをもくもくとしていて、すごいなあとおもいました。」  
6年「友だちのいいところ見つけた」コーナーより

右の写真は、2年生と5年生が並んで廊下の拭き込み掃除をしている様子。5年生が、長寿会の方に教えていただいたことを、ていねいに2年生に教えると、2年生もちゃんと拭き込み清掃を立派にやることができていました



「教えて下さった長寿会の方に、私たちの頑張っているところを見てほしいな・・・」そんな思いをもつ子どももいるようです。

## 子ども達が「わくわく夢を持つ」ことのできる、よりよい授業めざして・・・

### 「イメージ化」のための工夫

学力向上の取組 (11/27 3年松組「社会科」・12/10 4年松組「算数科」)

社会科では、傍陽地域で「リンゴづくり」にかける堀内さんの他品種栽培に焦点をあて、「他品種栽培をしている理由」について話し合う授業で、子ども達は、友だちの意



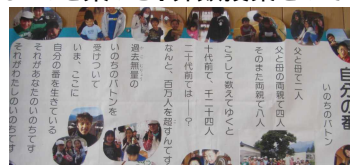
見を聞きながら考えを深め、最後に堀内さんに直接お話をさせていただきました。教師自身が教材に惚れ込むことの大切さを学びました。

算数科では、「文章問題の式を立てる」ために、問題文を絵や図に書き表してイメージ化する授業で、子ども達は、問題をいろいろなイメージ絵に表しながら、問題を解くためのポイントを追究していきました。子ども達が「考えることを楽しむ」算数授業をしていくためのヒントをつかむことができました。



(11/21 真田地区後期人権同和教育研修会での研修)

昨年度から始まった研修会。本原小が子どもたちに育もうとしている心「自尊心」をどうやったら高められるか、授業での子どもたちの様子から、学び合いました。



## 2008年傍陽小思い出の1ページ【小学校の四季編】

春



夏



秋



冬



次号予告:「2008年傍陽小思い出の1ページ」【子ども・先生編】特集です。お楽しみに。